

令和2年度 多様な新ニーズに対応する 「がん専門医療人材（がんプロフェッショナル）」養成プラン インテンシブコースセミナー

日時: 2020年10月8日(木) 13:00~14:30

場所: 兵庫県立大学 明石看護キャンパス (演習室 406/Zoom)

テーマ: 乳癌の最新治療

講師: 中山 貴寛先生(大阪国際がんセンター乳腺・内分泌外科 主任部長)

受講者: 4名(対面2名/Web2名)

主催: 兵庫県立大学看護学研究科 多様な新ニーズに対応する「がん専門医療人材(がんプロフェッショナル)」養成プラン代表 内布敦子



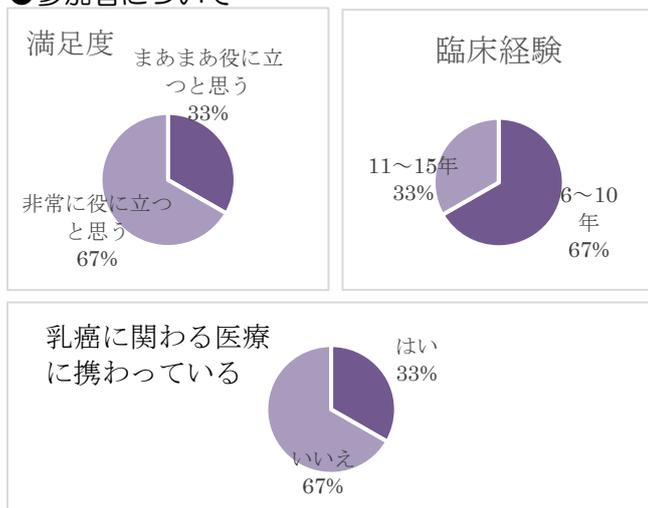
<概要>

大阪国際がんセンターで乳腺・内分泌外科の主任部長として現在ご活躍で、乳がん・甲状腺がんを専門とし、日本外科学会専門医・指導医、日本乳癌学会専門医・指導医の中山 貴寛先生から、乳がんの最新治療と題して、乳癌の標準治療についてご講義を頂きました。

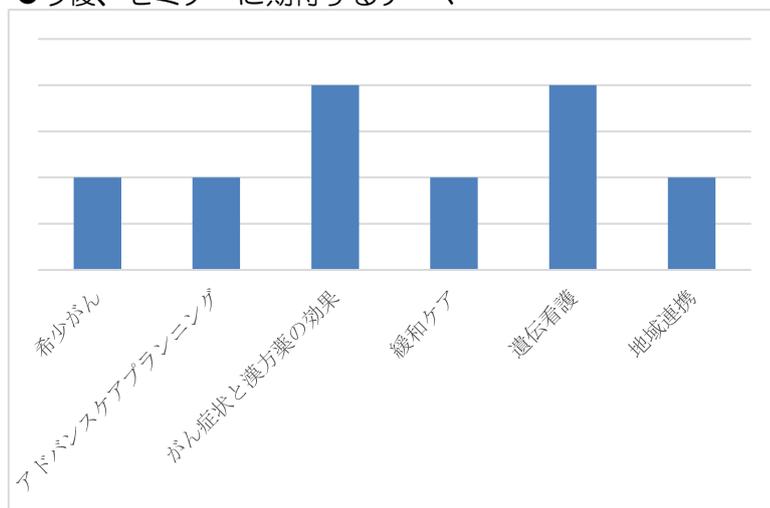
乳癌治療の基本的な考え方、乳癌の薬物療法を Agenda として、乳癌の治療の理解、乳がん診療ガイドライン 2018 年版の紹介、ホルモン療法、分子標的薬治療や、髪の毛が抜けにくい治療、口内炎対策といったことから、転移再発乳癌の治療まで幅広く最新の状況について丁寧にお話いただきました。

<アンケート結果より>

●参加者について



●今後、セミナーに期待するテーマ



●参加者からのコメントより

▼今回のセミナーで、あなたが感じたこと、印象に残ったことがあれば自由にお書きください。

- ・最新の治療や副作用について、詳細に説明頂き非常に勉強になりました。
- ・基礎的な内容から、最新の薬剤まで幅広く丁寧に講義をいただき、大変勉強になった。分かりやすい講義でした。

▼乳癌治療にともなう看護において、今最も強く感じている課題をお書きください。

- ・生存率の延長に伴い、長期に渡るその時々患者の状態に合わせた生活支援を継続して行う必要があると思う。病院、診療所、在宅分野などの連携をより強化する必要性を感じる。

▼がん医療について、今、最も強く感じている課題をお書きください。

- ・遺伝子検査、緩和ケア
- ・急性期病院の看護師の業務が増え、稼働率が上がり、在院日数がどんどん少なくなっていく中で、看護師が疲弊して「人」に関心が向かなくなってきたこと、がんに特化していませんが…
- ・高齢化や家族の協力が得られにくい現代で、本人も望まない治療を家族が希望されることがあります。その結果 QOL が下がったり、OPE 後の予後が悪く亡くなられたりする方などもおり悩むこともあります。
- ・生存率の向上に伴うがん患者の高齢化と療養場所の在宅移行。病院外でも専門的ながん看護を受け続けるにはどうしたらいいか。
- ・AYA 世代のがん患者様への看護。就労や妊孕性など。
- ・遺伝に関することなど、今後ますます明らかになってくることに対しての患者さんへの正しい情報提供などのサポート
- ・治療選択、対象の幅がどんどん広がっていく中で意思決定の困難さやそれにかかるエネルギーは必要で医療者のマンパワーは絶対必要

▼その他、何かご意見・ご感想があればお聞かせ下さい。

- ・最先端の話を聞いてとても勉強になったので、また機会があればセミナーに参加したいと思いました。
- ・すごく勉強になりました。ありがとうございました。